

## 令和3年度 第4回石狩叢書発刊編集委員会

■日時：令和4年3月3日（木）10時～

■場所：石狩市役所3階庁議室

■出席者：下記表のとおり

| 委員・臨時委員 |      | 職員（事務局等）        |      |
|---------|------|-----------------|------|
| 役職      | 氏名   | 所属              | 氏名   |
| 委員長     | 田岡克介 | 総務部長            | 及川浩史 |
| 委員      | 石橋孝夫 | 総務部総務課文書・法制担当主査 | 森本栄樹 |
| 委員      | 村山耀一 |                 |      |
| 委員（臨）   | 三島照子 |                 |      |
| 委員（臨）   | 工藤義衛 |                 |      |

### 【事務局（森本）】

令和3年度第4回の石狩叢書発刊編集委員会を開催いたします。

本日は第2校の確認となります。文字のポイントですが、皆様方にご相談させていただき、石狩叢書第一巻より大きくいたしました。文字が大きくなり、だいぶ見やすくなったかなと思います。

本文の確認前に、デザインから確認させていただきます。

### 【村山委員】

このデザインは第一巻と同じですか。

### 【事務局（森本）】

同じです。田岡克介さんの鮭話彼是としました。次に裏面の写真はどうか。

### 【石橋委員】

吉田さんが撮影したということであれば、写真のところに氏名を記載すればよいのではないのでしょうか。

### 【事務局（及川）】

賛成です。主な写真に名前を入れるのが良いのではないのでしょうか。例えば、お菓子の写真に入れなくても良いのではないのでしょうか。名前を入れるのはこの2枚くらいかなと思います。

### 【村山委員】

写真の説明のようなものはいらないのでしょうか。夕日だとか日没だとか。

### 【事務局（及川）】

表の写真には説明が入っていないようです。例えば夕暮れの石狩河口橋とか。

【事務局（森本）】

見開きになって記載しています。

【田岡委員長】

村山委員が言ったように、金大亭の台所と記載した方がよいと思う。左下に入れてください。

【事務局（森本）】

著者略歴は必要でしょうか。石狩叢書第一巻には、吉岡さんの略歴を掲載しております。

【三島委員】

どのような本でも略歴の記載はあるので、短くてもいいので掲載した方がよいのではないのでしょうか。今は、田岡委員長のことを皆さんが知っていますが、本は何年も残るものだから、略歴はあった方がよいと思います。

【事務局（森本）】

略歴を入れることとします。

【田岡委員長】

序文はいらないですね。

【事務局（及川）】

序文は毎回入れなくても良いのではないのでしょうか。

【事務局（森本）】

序文はいらないということで了解しました。

【石橋委員】

表紙の「田岡克介さんの鮭話彼是」と読ませるのであれば、鮭話にもルビがいるのではないのでしょうか。ルビを振らないと色々な読み方ができてしまうのではないのでしょうか。

【三島委員】

「はなし」にするのですか、「ばなし」にするのですか。

【事務局（森本）】

「ばなし」ですね。背表紙も含めて「鮭話」にもルビを振るということで進めます。構成としては、序文がなくなって、まえがきが来て、目次とさせていただきます。

**【田岡委員長】**

文章が滅茶苦茶な個所がまだあります。特に後ろの方が。

**【三島委員】**

地図の字は、すごく味があってよいと思うのですが、見づらいです。もう少し黒い字のところを色濃くできないでしょうか。そうしたらもっと見づらくなりますか。

**【石橋委員】**

例えば、ページのぎりぎりまで拡大すれば、見やすくなるのではないのでしょうか。

**【事務局（森本）】**

拡大してもらおうということで、印刷会社と調整してみます。

**【事務局（及川）】**

この地図の説明はいらないのでしょうか。田岡委員長が記憶を頼りに描いたことや何年当時のことなどです。

**【田岡委員長】**

これは、何年当時ということではなく、本文中の文章の位置図です。

**【事務局（森本）】**

説明書きは必要でしょうか。

**【三島委員】**

コメントを入れた方がよいと思います。

**【事務局（森本）】**

田岡委員長には、地図に、原稿に出てくる地名であるという簡単な記載を入れていただくことでお願いします。

**【田岡委員長】**

わかりました。

**【事務局（森本）】**

次に、本文の確認に入ります。田岡委員長が一番気になっているのは、例えば3ページの後ろの余白などで、ところどころにある余白をどうするかということです。

**【田岡委員長】**

文字のポイント数を大きくしたことによって、これが出てきた。

【三島委員】

これは詰められないのですか。

【事務局（森本）】

詰めたらかえって読みづらいと思います。

【三島委員】

絵を描いて入れるというのはできないのですか。

【田岡委員長】

ここに直接、絵を描いて入れます。別に描くと大きくなってしまうので原寸で書きます。

【事務局（森本）】

わかりました。田岡委員長にお願いしたいと思います。

【田岡委員長】

本文に関係のない絵でも良いでしょうか。

【事務局（森本）】

田岡委員長にお任せします。

【村山委員】

4 ページの介にルビが入っていますよね。文中にも何箇所か入っています。入っていない箇所もあります。これは、ほかのページも含め、最初に入れて、その後は入れないなど何かルールがあるのでしょうか。

【事務局（森本）】

それは確認しきれていないですね。本文中に、一回入れれば、後はいらないと思います。私も確認しますが、皆さんでも確認をお願いしたいと思います。

また、注意書きを、本文の最後に入れたものがあります。例えば11 ページです。志賀委員のリクエストによるものです。この内容も、皆さんで確認をお願いしたいと思います。

【事務局（及川）】

注意書きはあった方が分かりやすいですね。

【事務局（森本）】

志賀委員からこの項目はあった方がよい、ということで一覧をもらいました。それをベースに、石橋委員に調べてもらい、入れました。

【三島委員】

8ページのパンチェッタとは何ですか。

【田岡委員長】

イタリア料理です。

【田岡委員長】

叩きがどうしたとか言っていなかったでしょうか。

【三島委員】

玄関に入ると土間があって、その上に木のちょっと高いところがあって、たたきと言わないでしょうか。

【工藤委員】

要するに土間のことなのですよ。

【田岡委員長】

そこに粘性のものを混ぜて、上から叩いて作っている。

【石橋委員】

三に平和の和に土と書きます。辞書を引くとこの字は違うと出てきます。

【三島委員】

ルビを振った方がよいと思います。

【工藤委員】

先ほど石橋委員が言った三和土と書いたらわかる人はわかるので。要するに土を固めたところに簀子を置いたのではなくて、しっかりしたところに場所を作っていたということです。

【事務局（森本）】

注意書きはいらないということですか。

【工藤委員】

全国的に三和土と書けばたたきのことなので、注はいらないと思います。商店とか入口のところは、ただ土を固めたのではなく、そういうもので作っているということなので。

【石橋委員】

もしくはこの部分はひらがなにするか。あと気になったのは麴屋さんで、麴屋の親方を杜氏と書いてあるのですが。

【田岡委員長】

もともと酒を造っていたので。どこかに書いたのですが、八幡町の酒の銘柄でわからないものがあります。

【三島委員】

「寡黙な杜氏で」のところは、「元」を入れればよいのではないのでしょうか。

【石橋委員】

そうですね。元と入れればより分かりやすいと思います。

【田岡委員長】

あとで気が付いたのですが、57ページのところは、川の間ですね。

【事務局（森本）】

そこは修正します。わかりました。それでは、皆様には、3月10日ぐらいまでにご確認いただきます。

【三島委員】

101ページの村山家文書の幕末の石狩川鮭場所図は、もう少し見やすい資料があったと思います。工藤委員のところにはないですか。

【工藤委員】

もう少し見やすく調整したものを差し替えたいと思います。明るくすることはできますが、見やすくなるかどうかかわからないですが。

【事務局（森本）】

それでは本日の会議を終了したいと思います。ありがとうございました。

令和4年3月31日 議事録確定

石狩叢書発刊編集委員会 委員長

田岡克介